



MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY



第21回例会(3月5日)
令和3年3月12日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10
川徳デパート内
例 会 場 同上 TEL 019 (651) 1111(代)
例 会 日 毎週金曜日12時30分～
<https://www.morioka-rc.jp/>

会 長 米内 正
幹 事 大平 騰一
報 告 佐藤 仁志
クラブ事務局 TEL 019 (653) 5682
FAX 019 (653) 5622

RI会長テーマ Rotary Opens Opportunities:ロータリーは機会の扉を開く…ホルガー・クナーケ
盛岡RC会長テーマ 奉仕の輪を拡げ困難を乗り越えよう 米内 正



ゲスト卓話

フードバンク岩手の取組み

フードバンク岩手 事務局次長

佐藤 幸枝 様

●スピーカー紹介●

佐藤 幸枝 (さとう ゆきえ)
特定非営利活動法人フードバンク岩手 事務局次長
フードバンク岩手の活動に共感し民間企業より転身2019年5月より勤務、
2020年4月より事務局次長として団体事務局業務全般を管理。

1.フードバンクとは

フードバンクとは企業・個人・農家から食品を募り生活困窮者支援機関や支援団体・相談窓口・施設等を通じ生活にお困りの方々に食品をお渡しする活動で、フードバンク岩手では児童養護施設や学習支援団体、子ども食堂、生活困窮者支援機関を通じて食品をお渡しする間接的な支援と個別の世帯へ食品を直接送るパントリー活動を行っております。また持続可能な開発目標 (SDGs ※末尾参照) にも取り組んでおり、17のゴールの中でも特に取り組んでいる3つの目標は、

①「貧困をなくそう」あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる

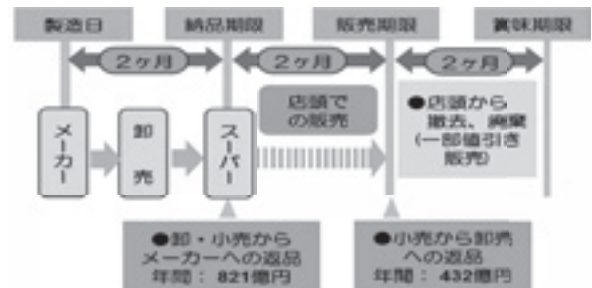
⑫「つくる責任つかう責任」小売・消費レベルにおける一人当たりの食料の廃棄を半減させ食品ロスを減少させる。

⑬「パートナーシップで目標を達成しよう」さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。

となります。

2.食品ロスとは

まだ食べられるのに様々な理由で廃棄されてしまう食品の事で、事業系から食品が捨てられる理由は製造段階での印字ミスや規格外品の発生、製造過多などの理由。流通過程では商品の汚損破損(中身の食品ではなく包装など)。小売業では需要予測のずれによる売れ残りや新商品等により店頭から撤去された食品や業界特有のいわゆる1/3ルールというのがあります。



また家庭から捨てられる食品では約6割が料理くずで約4割が食べ残しであった。食べ残しの内約1/4が手つかずの食品でさらにその1/4が賞味期限内の食品が捨てられていたということが分かっています。その量は事業系からは328万ト、家庭系からは284万トの合計612万トもの食品が廃棄されています。これは国民1人あたりお茶碗1杯分のごはんを捨てているのと同じ量でWFPが世界全体の食料援助量の1.6倍にも相当します。日本の食品ロス量612万トで飢餓に苦しんでいる2億人を救えると言われてしています。

3.貧困問題

日本の貧困の表し方は相対的貧困で表しており、2018年の厚労省の発表では国民の可処分所得の中央値が253万円、その半分の金額である127万円が相対的貧困のラインで15.4%の人が下回っています。それが子どもだと13.5%で約7人に1人が対象となっているのが現状です。

4.フードバンク岩手にしくみと現状

フードバンク岩手の食料支援の方法は生活にお困りの世帯へ直接食品をお渡しするのではなく、支援機関を通じて食品をお渡しする方法をとって

おります。その理由は生活にお困りの方々がその困りごとを根本的に解決するためには、食品をお渡しするだけではできないと考えているからです。支援機関の相談員が困りごとを抱えた世帯へよりそい支援を行うためにも支援機関が伴走する事が重要だと考えています。

昨年度（2019年度）の行政や社会福祉協議会からの食料支援要請（食のセーフティーネット事業）は877件ありました。（フードバンク岩手に直接入ったSOSは地元の支援機関につなぎ食品を提供）2020年度はコロナ禍の影響もあり例年より増加傾向にあります。また1件あたりに提供する食品量が増えていることから、世帯が抱えた課題はより深刻になっております。

また子どもの貧困対策事業では子どものいる世帯へ夏期、冬期、春期の長期休み時期に食品を送る「フードバンクこども応援プロジェクト」も実施しており2020年度は約1000世帯へお渡しする見込み。「食のセーフティーネット事業」と「フードバンクこども応援プロジェクト」で支援機関へつながった世帯へ定期的に食品をお送りする見守り事業も今年度より開始しており、より効果的に困りごとや課題を抱えている世帯へ寄り添える支援を継続するために活動を充実させていきたい。

5.おわりに

私達の活動は「もったいない（食品ロス）」を「ありがとう（困窮者支援）」につなげる活動です。その活動が広がり浸透することにより、この岩手県や東北地方、日本で困りごとを抱えた人たちが放置されることがなくなり、子どもたちが社会や家庭の環境に関係なく将来に希望を持てる地域になれると信じております。東日本大震災から10年、これからの10年は新しいパートナーシップのかたちを発信しこの連携協働が広がりあたりまえになる社会を目指したいと思います。

最後になりますがこれまでも様々なご協力と今日のような貴重な機会を頂いたことに感謝いたします。本日はありがとうございました。

（※）持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

例会報告

第21回例会

令和3年3月5日(金)

場所：ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング

12時30分 開会点鐘

- ・司会 米内正会長
- ・国歌 君が代
- ・ロータリーソング（奉仕の理想）
- ・ゲスト 阿部智幸様
（フードバンク岩手 事務局長）
- 佐藤幸枝様（〃 事務局次長）
- 趙 玥棋さん（本年度米山記念奨学生）

- ・会長報告 米内正会長
- ・入会祝 白石茂・坂本広行・田村賢一君
- ・誕生祝 白石茂・田村賢一・近藤駿・荒川鉄平・三浦義孝・佐藤重昭・安川慎治君
- ・結婚祝 荒川鉄平・盛田洋太郎・飯塚肇・長野隆行・岩野法光・鈴木博高・佐々木和俊君
- ・幹事報告 大平騰一幹事
- ・終了後定例理事会開催
- ・委員会報告

【ニコニコBOX】

- ◆熊谷隆司君…フードバンク岩手の阿

部様、佐藤様、有益な卓話、ありがとうございました。

- ◆米内正君…フードバンク岩手の阿部智幸様、佐藤幸枝様、本日はご来会し、フードバンクについてご説明いただきました。今後も当クラブはしっかり協力してまいります。どうぞ、健康に留意されご活躍くださるようお願いいたします。

- ◆長野隆行君…米山記念奨学生・趙玥棋さんの盛岡クラブ例会出席は、今月で最後となります。この一年間、大変ご苦勞様でした。今後の益々のご活躍を期待します。

プログラムのお知らせ

- ・3月12日(金) ゲスト卓話 中村夢美子様（みちのく立志塾 塾長）
「進んでいますか？女性活躍」
- 19日(金) ゲスト卓話 大嶋貴志様（NHK盛岡放送局 アナウンサー）
- 26日(金) 環境保全ポスター表彰式
- ・4月2日(金) 会員卓話 西島光茂会員
- 9日(金) 新入会員卓話 三浦義孝会員「小児科医のたからもの」

●本号編集担当／西館 政美